

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	福岡財務支局長
【提出日】	平成25年12月13日
【四半期会計期間】	第43期第2四半期（自 平成25年8月1日 至 平成25年10月31日）
【会社名】	株式会社グリーンクロス
【英訳名】	GREEN CROSS CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 久保 孝二
【本店の所在の場所】	福岡市中央区小笹五丁目22番34号
【電話番号】	092-521-6561
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 松本 光一郎
【最寄りの連絡場所】	福岡市中央区小笹五丁目22番34号
【電話番号】	092-521-6561
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 松本 光一郎
【縦覧に供する場所】	証券会員制法人福岡証券取引所 (福岡市中央区天神二丁目14番2号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第42期 第2四半期 連結累計期間	第43期 第2四半期 連結累計期間	第42期
会計期間	自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日	自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日	自 平成24年5月1日 至 平成25年4月30日
売上高(千円)	3,634,540	4,610,868	7,971,731
経常利益(千円)	192,415	416,480	665,200
四半期(当期)純利益(千円)	90,992	244,633	365,424
四半期包括利益又は包括利益(千円)	111,414	253,212	421,668
純資産額(千円)	3,556,386	4,025,086	3,866,640
総資産額(千円)	5,636,883	7,350,210	6,634,028
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	21.12	56.79	84.83
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	63.1	54.8	58.3
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	133,305	200,680	431,961
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	49,047	297,349	315,456
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	157,162	145,218	92,661
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	266,594	863,825	815,277

回次	第42期 第2四半期 連結会計期間	第43期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年8月1日 至 平成24年10月31日	自 平成25年8月1日 至 平成25年10月31日
1株当たり四半期純利益金額(円)	16.34	35.96

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の緩やかな回復とともに、政府等による経済・金融政策を背景にした景気回復へ向け堅調に推移しました。

当社グループが関係する安全機材業界及びサインメディア業界におきましては、全国的に公共・民間事業共に堅調な推移がみられ、引き続き災害に強い社会基盤の構築・整備に係る需要、地球温暖化・供給エネルギーの観点から循環型社会への取組み等により、全般的に堅調に推移しております。

この様な状況のもと、当社グループは経営理念に基づき総合安全産業立脚に向け変化していく新たな安全・サインメディアへの環境ニーズに対し、安全・サイン・レンタル等、より専門の位置からの企画・提案を推進すると共に西日本を起点に物流の集約化やネットワークの活用をより広範囲に拡大し、高度で高品質なサービスの提供に努めました結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績におきましては、売上高4,610百万円（前年同四半期比26.9%増）、営業利益414百万円（前年同四半期比113.5%増）、経常利益416百万円（前年同四半期比116.4%増）、四半期純利益244百万円（前年同四半期比168.9%増）となりました。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ48百万円増加し、863百万円となり、前年同四半期比597百万円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況に関しましては、次のとおりであります。

##### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果増加した資金は200百万円（前年同四半期は133百万円の支出）となりました。主な要因は、売上債権の増加360百万円、法人税等の支払額192百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益416百万円、賞与引当金の増加162百万円、仕入債務の増加125百万円等によるものであります。

##### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は297百万円（前年同四半期比248百万円支出増）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得302百万円等によるものであります。

##### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果増加した資金は145百万円（前年同四半期は157百万円の支出）となりました。その要因は、長期借入金の返済49百万円、配当金の支払94百万円があったものの、短期借入金の純増額290百万円によるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

#### (4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	18,050,500
計	18,050,500

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年10月31日)	提出日現在発行数(株) (平成25年12月13日)	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	4,512,640	4,512,640	福岡証券取引所	単元株式数100株
計	4,512,640	4,512,640	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数増減数 (株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増減額 (千円)	資本準備金残高 (千円)
平成25年8月1日～ 平成25年10月31日	-	4,512,640	-	697,266	-	660,866

(6) 【大株主の状況】

平成25年10月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合(%)
青山 悦子	福岡市中央区	513	11.36
グリーンクロス社員持株会	福岡市中央区小笹5丁目22-34 株式会社グリーンクロス内	464	10.30
柴田 泰三	福岡市南区	256	5.67
株式会社グリーンクロス	福岡市中央区小笹5丁目22-34	205	4.54
中野 淑	福岡市南区	166	3.69
東條 優	東京都国立市	166	3.69
井上 愛	福岡市城南区	166	3.69
株式会社西日本シティ銀行	福岡市博多区博多駅前3丁目1-1	128	2.83
椛田 法義	東京都板橋区	101	2.24
リックス株式会社	福岡市博多区山王1丁目15-15	97	2.14
計	-	2,265	50.21

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年10月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 205,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,307,600	43,076	-
単元未満株式	普通株式 40	-	-
発行済株式総数	4,512,640	-	-
総株主の議決権	-	43,076	-

(注) 「単元未満株式」の欄の普通株式は、自社保有の自己株式であります。

【自己株式等】

平成25年10月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合 (%)
株式会社グリーンクロス	福岡市中央区小笹五 丁目22番34号	205,000	-	205,000	4.54
計	-	205,000	-	205,000	4.54

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年8月1日から平成25年10月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年5月1日から平成25年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	815,277	863,825
受取手形及び売掛金	1,907,876	2,268,807
商品及び製品	806,083	776,889
レンタル品	324,226	325,829
原材料及び貯蔵品	120,533	125,145
その他	137,007	200,833
貸倒引当金	25,119	23,043
流動資産合計	4,085,885	4,538,287
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	437,108	426,472
土地	1,593,709	1,593,709
建設仮勘定	6,000	285,600
その他(純額)	38,140	47,431
有形固定資産合計	2,074,957	2,353,213
無形固定資産		
のれん	15,889	12,602
その他	64,879	48,715
無形固定資産合計	80,768	61,317
投資その他の資産		
投資有価証券	274,668	280,886
その他	168,119	167,198
貸倒引当金	50,371	50,692
投資その他の資産合計	392,416	397,393
固定資産合計	2,548,143	2,811,923
資産合計	6,634,028	7,350,210

	前連結会計年度 (平成25年4月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,604,272	1,730,023
短期借入金	300,000	590,000
1年内返済予定の長期借入金	99,996	99,996
未払法人税等	206,115	245,482
賞与引当金	200,000	362,000
役員賞与引当金	18,200	-
その他	172,124	180,941
流動負債合計	2,600,707	3,208,442
固定負債		
長期借入金	166,680	116,682
固定負債合計	166,680	116,682
負債合計	2,767,387	3,325,124
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	697,266	697,266
資本剰余金	662,208	662,208
利益剰余金	2,550,413	2,700,279
自己株式	100,277	100,277
株主資本合計	3,809,611	3,959,477
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	56,624	65,165
その他の包括利益累計額合計	56,624	65,165
少数株主持分	405	443
純資産合計	3,866,640	4,025,086
負債純資産合計	6,634,028	7,350,210



( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】  
【四半期連結損益計算書】  
【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 5 月 1 日 至 平成24年10月31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 5 月 1 日 至 平成25年10月31日)
売上高	3,634,540	4,610,868
売上原価	2,164,545	2,713,598
売上総利益	1,469,994	1,897,269
販売費及び一般管理費	1,275,851	1,482,760
営業利益	194,143	414,509
営業外収益		
受取利息	56	60
受取配当金	1,510	1,494
投資事業組合運用益	-	2,980
助成金収入	-	8,972
雑収入	2,611	2,760
営業外収益合計	4,178	16,266
営業外費用		
支払利息	2,160	2,251
為替差損	1,982	9,646
投資事業組合運用損	1,357	-
雑損失	406	2,396
営業外費用合計	5,906	14,295
経常利益	192,415	416,480
特別損失		
投資有価証券評価損	31,790	-
特別損失合計	31,790	-
税金等調整前四半期純利益	160,624	416,480
法人税、住民税及び事業税	91,690	231,090
法人税等調整額	22,067	59,280
法人税等合計	69,622	171,809
少数株主損益調整前四半期純利益	91,002	244,671
少数株主利益	9	37
四半期純利益	90,992	244,633

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年5月1日 至 平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年5月1日 至 平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	91,002	244,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,412	8,541
その他の包括利益合計	20,412	8,541
四半期包括利益	111,414	253,212
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	111,405	253,175
少数株主に係る四半期包括利益	9	37

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	160,624	416,480
減価償却費	44,100	40,867
のれん償却額	3,287	3,287
貸倒引当金の増減額(は減少)	7,009	1,755
賞与引当金の増減額(は減少)	50,000	162,000
役員賞与引当金の増減額(は減少)	17,000	18,200
受取利息及び受取配当金	1,567	1,554
支払利息	2,160	2,251
投資事業組合運用損益(は益)	1,357	2,980
投資有価証券評価損益(は益)	31,790	-
助成金収入	-	8,972
売上債権の増減額(は増加)	116,808	360,931
たな卸資産の増減額(は増加)	25,212	22,979
仕入債務の増減額(は減少)	9,438	125,750
その他	15,078	5,524
小計	120,082	384,749
利息及び配当金の受取額	1,567	1,554
利息の支払額	2,191	2,272
助成金の受取額	-	8,972
法人税等の支払額	252,764	192,323
営業活動によるキャッシュ・フロー	133,305	200,680
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	34,849	302,991
無形固定資産の取得による支出	4,400	-
投資有価証券の取得による支出	9,968	79
出資金の分配による収入	2,000	10,000
貸付けによる支出	800	-
貸付金の回収による収入	351	467
その他	1,380	4,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	49,047	297,349
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	290,000
長期借入金の返済による支出	49,998	49,998
配当金の支払額	107,164	94,783
財務活動によるキャッシュ・フロー	157,162	145,218
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	339,515	48,548
現金及び現金同等物の期首残高	606,109	815,277
現金及び現金同等物の四半期末残高	266,594	863,825

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
給料	544,781千円	565,042千円
賞与引当金繰入額	150,416	286,625

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
現金及び預金勘定	266,594千円	863,825千円
現金及び現金同等物	266,594	863,825

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年10月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年7月26日 定時株主総会	普通株式	107,690	25.00	平成24年4月30日	平成24年7月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成25年10月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額(千円)	1株当たり配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年7月26日 定時株主総会	普通株式	94,767	22.00	平成25年4月30日	平成25年7月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成24年10月31日)

当社グループは、道路安全資材、建築防災用品、保安用品、保護具及び各種看板・標識等サインメディアの製作、販売、レンタルを行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年5月1日至平成25年10月31日)

当社グループは、道路安全資材、建築防災用品、保安用品、保護具及び各種看板・標識等サインメディアの製作、販売、レンタルを行う単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成24年10月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年5月1日 至平成25年10月31日)
1株当たり四半期純利益金額	21円12銭	56円79銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	90,992	244,633
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	90,992	244,633
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,307	4,307

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月13日

株式会社グリーンクロス

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 松嶋 敦 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 城戸 昭博 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社グリーンクロスの平成25年5月1日から平成26年4月30日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年8月1日から平成25年10月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年5月1日から平成25年10月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社グリーンクロス及び連結子会社の平成25年10月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。